

2020年、令和2年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
今年にはオリンピック・パラリンピックイヤーであり、昨年の世界野球プレミア12の日本代表の優勝やラグビーワールドカップの日本開催の成功と日本代表の躍進でラグビー熱、スポーツ熱の興奮が冷めやらぬ中、56年ぶりに東京で開催されるオリンピック・パラリンピックは日本中を湧き立たせてくれることと、期待が高まります。また、新年早々の1月2日には第96回箱根駅伝に育英大学陸上部・駅伝、主将2年生の外山結選手が関東学連代表として5区の出場を快走しました。一昨年、育英大学開学と同じ



ご挨拶

群馬育英学園

理事長 中村義寛

時に発足した陸上部・長距離部は1年目が部員4名、2年目が10名の14名の内、箱根駅伝予選会に出場できる基準タイムをクリアした12名が昨年10月26日に立川駐屯地・昭和記念公園で行われた予選会に初めて出場し、好タイムを記録した外山選手は、予選会を突破して本大会に出場する10校以外の大学から選ばれる関東学連に選ばれて出場しました。また、育英大学レスリング部も昨年創部2年目で男子が団体で東日本リーグ2部で優勝、入れ替え戦で防衛大学に勝利し、今年から1部リーグで戦います。

昨年の第101回全国高校野球選手権大会の前橋育英高校硬式野球部の出場、今回の前橋育英高校男子・女子サッカー部・男子バスケットボール部の全国大会出場の支援、応援支援の募金に際しましては、学園協力会・協力企業・高校後援会・保護者会・同窓会・退職者の会・学園教職員等々、多くの皆様のご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

学校法人群馬育英学園は開学3年目の育英大学、育英短期大学、前橋育英高等



発行
学校法人 群馬育英学園
広報委員会

学園の主な行事日程

育英大学

◆入試日程

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
A O V 期	3月26日⑤	3月11日⑤ ~ 3月19日⑤	3月26日⑤
一般 I 期	2月 6日⑤	1月14日⑤ ~ 1月30日⑤	2月13日⑤
一般 II 期	3月16日⑤	2月27日⑤ ~ 3月10日⑤	3月19日⑤
センター試験Ⅰ期	2月18日⑤	1月27日⑤ ~ 2月10日⑤	2月21日⑤
センター試験Ⅱ期	3月 5日⑤	2月12日⑤ ~ 2月26日⑤	3月 9日⑤
センター試験Ⅲ期	3月26日⑤	3月11日⑤ ~ 3月19日⑤	3月26日⑤

育英短期大学

◆入試日程

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
特待Ⅱ期	2月 6日⑤	1月14日⑤ ~ 1月31日⑤	2月 7日⑤
一般Ⅰ期	2月 6日⑤	1月14日⑤ ~ 1月31日⑤	2月 7日⑤
一般Ⅱ期	3月 5日⑤	2月12日⑤ ~ 2月26日⑤	3月 6日⑤
一般Ⅲ期	3月26日⑤	3月 9日⑤ ~ 3月19日⑤	3月26日⑤
特別入学試験Ⅲ期	2月 6日⑤	1月14日⑤ ~ 1月31日⑤	2月 7日⑤
特別入学試験Ⅳ期	3月 5日⑤	2月12日⑤ ~ 2月26日⑤	3月 6日⑤
特別入学試験Ⅴ期	3月26日⑤	3月 9日⑤ ~ 3月19日⑤	3月26日⑤

入試種別	エントリー期間	面接日	出願許可者発表	正式出願期間	合格発表
A O V 期	2月12日⑤~2月26日⑤	3月5日⑤	3月6日⑤	3月7日⑤~3月11日⑤	3月13日⑤

※A O V 期は現代コミュニケーション学科のみ実施

前橋育英高等学校

◆Ⅳ類修学旅行 2月4日⑤ ~ 2月7日⑤ ◆学年末試験 2月25日⑤ ~ 2月28日⑤

◆卒業式 3月2日⑤ ◆終業式 3月24日⑤ ◆学年末休業 3月25日⑤ ~

◆入試日程

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
学特Ⅱ期	2月 1日⑤	1月20日⑤ ~ 1月23日⑤	2月 5日⑤
一般	2月 1日⑤	1月20日⑤ ~ 1月23日⑤	2月 5日⑤

学校を設置する法人であり、系列学園として学校法人群馬英数学館 育英メディカル専門学校(鍼灸学科・柔道整復学科)、学校法人中村学園 大和根育英幼稚園・朝日が丘幼稚園があります。
少子化や、女性の社会進出、核家族化、共働き世帯の増加などにより、各市町村でも子供を安心して育てることのできる環境の整備がより一層必要となり、保育士や幼稚園教諭の需要は益々高まっています。地域社会からの要望にこたえるべく、育英大学、育英短期大学、前橋育英高校として

系列である育英メディカル専門学校、中村学園がより強い連携をとり、各分野における有能な人材を輩出してまいります。
育英大学、育英短期大学、前橋育英高等学校とともに、今後ますます厳しくなる少子化にあっても、より一層の改革により進化を遂げ地域から高く評価され学園を目指し、一致協力して邁進してゆく所存です。今後とも関係各位の更なるご理解とご協力を申し上げ、この1年が皆様にとつて素晴らしい年になりますようお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年



役員・評議員

学園長

理事長

理事(大学短大校長)

理事(高校校長)

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

法人为本部

総務部 財務課長

総務部 企画課長・財務課次長

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

総務部

大学・短期大学

スポーツ教育専攻長・教授

保育学科長・教授

学生支援部長・准教授

図書館長・幼児教育研究科長・教授

教職キャリアセンター長・教授

管理課長

学生支援課長

学生支援課長補佐

教務課長

教務課長補佐

入試広報課長

入試広報課長補佐

事務課長補佐

伊藤 憲康
高月 広喜
朝岡 正雄
松本 尚
柳川 美磨
関 雅夫
藤島 喜代仁
戸澤 俊一
中井 秀一
平澤 朋弘
桂 健太郎
塚田 恵

中村 有
石井 義寛
山田 耕介
高山 昇
佐伯 詔一
岩川 正典
金子 清志
小野澤 正喜
福島 英人
前田 宏
代田 恭之
富岡 政明
新井 保幸
岡田 義幸
岡田 神哉
武田 雅彦
久住 洋
新井 信雄
根岸 智代
関根 映一
中島 篤
北條 哲成
遠山 浩二
石井 晃英
大塚 昌代
石井 昌代
高月 有記恵
亦野 崇夫
北原 崇夫

※は評議員兼任

平成30年度決算報告

学校法人 群馬育英学園

学園の平成30年度決算は、本年度5月28日(火)に開催された理事会において承認可決され、続いて開催された評議員会に報告されました。平成30年度決算は下記のとおりです。

事業活動収支計算書

平成30年4月1日より
平成31年3月31日まで
(単位:円)

教育活動収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
学生生徒等納付金	1,529,170,000	1,502,227,330	26,942,670
手数料	52,945,000	52,249,487	695,513
寄付金	77,399,000	81,773,728	▲4,374,728
経常費等補助金	619,623,000	643,492,667	▲23,869,667
付随事業収入	21,572,000	23,177,100	▲1,605,100
雑収入	156,111,000	129,540,615	26,570,385
教育活動収入計	2,456,820,000	2,432,460,927	24,359,073
教育活動収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
人件費	1,689,429,000	1,659,738,581	29,690,419
教育研究経費	662,218,000	688,910,189	▲26,692,189
管理経費	138,116,000	197,332,313	▲59,216,313
徴収不能額等	0	440,620	▲440,620
教育活動支出計	2,489,763,000	2,546,421,703	▲56,658,703
教育活動収支差額	▲32,943,000	▲113,960,776	81,017,776

教育活動外収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
受取利息・配当金	216,000	115,633	100,367
教育活動外収入計	216,000	115,633	100,367

教育活動外収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
借入金等利息	837,000	875,871	▲38,871
教育活動外支出計	837,000	875,871	▲38,871
教育活動外収支差額	▲621,000	▲760,238	139,238
経常収支差額	▲33,564,000	▲114,721,014	81,157,014

特別収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
その他の特別収入	0	29,069,039	▲29,069,039
特別収入計	0	29,069,039	▲29,069,039

特別収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
資産処分差額	0	6,001,063	▲6,001,063
その他の特別支出	0	114,000	▲114,000
特別支出計	0	6,115,063	▲6,115,063
特別収支差額	0	22,953,976	▲22,953,976

科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
[予備費]	28,000,000	28,000,000	0
基本金組入前当年度収支差額	▲61,564,000	▲91,767,038	30,203,038
基本金組入額合計	▲144,014,000	▲172,951,415	28,937,415
当年度収支差額	▲205,578,000	▲264,718,453	59,140,453
前年度繰越収支差額	▲3,356,698,341	▲3,831,371,686	474,673,345
翌年度繰越収支差額	▲3,562,276,341	▲4,096,090,139	533,813,798

(参考)

事業活動収入計	2,457,036,000	2,461,645,599	▲4,609,599
事業活動支出計	2,518,600,000	2,553,412,637	▲34,812,637

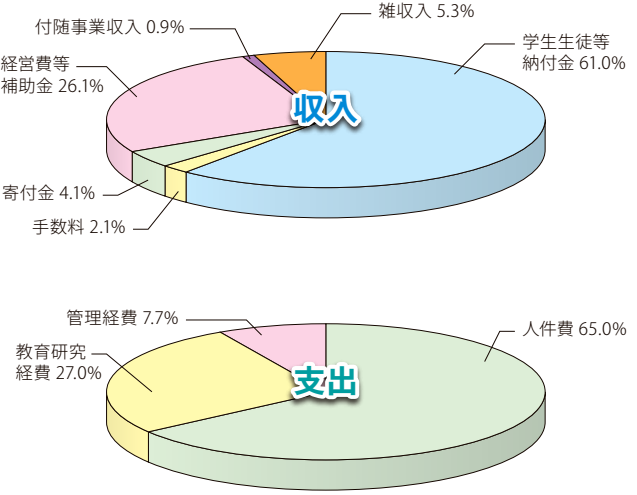
資金収支計算書

平成30年4月1日より
平成31年3月31日まで
(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
学生生徒等納付金収入	1,529,170,000	1,502,227,330	26,942,670
手数料収入	52,945,000	52,249,487	695,513
寄付金収入	77,399,000	95,008,005	▲17,609,005
補助金収入	619,623,000	654,106,667	▲34,483,667
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	21,572,000	23,177,100	▲1,605,100
受取利息・配当金収入	216,000	115,633	100,367
雑収入	156,111,000	129,540,615	26,570,385
借入金等収入	53,000,000	53,000,000	0
前受金収入	174,930,000	163,867,000	11,063,000
その他の収入	1,140,770,000	1,273,965,258	▲133,195,258
資金収入調整勘定	▲166,040,000	▲172,330,376	6,290,376
前年度繰越支払資金	1,198,066,986	1,198,066,986	0
収入の部合計	4,857,762,986	4,972,993,705	▲115,230,719

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
人件費支出	1,689,429,000	1,683,364,611	6,064,389
教育研究経費支出	475,161,000	499,645,219	▲24,484,219
管理経費支出	133,110,000	191,862,631	▲58,752,631
借入金等利息支出	837,000	875,871	▲38,871
借入金等返済支出	32,292,000	32,292,000	0
施設関係支出	89,151,000	74,668,240	14,482,760
設備関係支出	90,553,000	91,439,040	▲886,040
資産運用支出	0	4,326,020	▲4,326,020
その他の支出	1,177,959,000	1,207,474,545	▲29,515,545
予備費	28,000,000	0	28,000,000
資金支出調整勘定	▲27,587,000	▲14,139,196	▲13,447,804
翌年度繰越支払資金	1,168,857,986	1,201,184,724	▲32,326,738
支出の部合計	4,857,762,986	4,972,993,705	▲115,230,719

平成30年度 事業活動収支構成比率



《注記》

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

- 徴収不能引当金
未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能額を計上する事としている。
- 退職給与引当金
期末要支給額1,032,344,753円から公益財団法人群馬県私学振興会(退職団体)よりの要交付額1,031,608,733円を控除した額736,020円全額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

- 預り金に係る収支の表示方法
預り金については、総額表示している。
- 食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法
補助活動に係る収支については、総額表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 4,562,580,257円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類および額

土地	2,405,914,057円
建物	2,915,531,163円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 72,371,096円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース

- 平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース資産の種類	リース取引	未経過リース料残高
教育研究機器備品	5,821,631円	2,435,281円
管理用機器備品	3,785,253円	2,168,140円

(2) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

■ 属性	役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社
■ 役員法人等の名称	上毛資源株式会社
■ 住所	前橋市高井町
■ 資本金又は出資金	50,000,000円
■ 事業の内容又は職業	廃棄物処理・清掃業務会社経営
■ 関係内容	
役員兼任等	兼任1名
事業上の関係	廃棄物処理・清掃業務契約
■ 取引の内容	校内廃棄物処理及び清掃委託(注1)
■ 取引金額	13,415,760円

(注1) 業務委託費については市場価格を勘案して一般的な取引条件と同様に決定している。

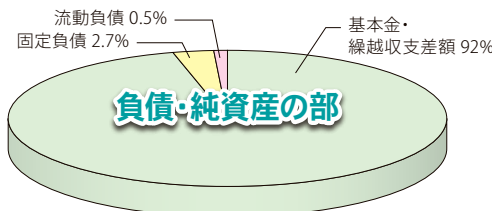
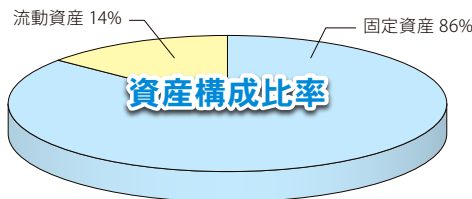
貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定資産	7,691,528,919	7,740,851,002	▲49,322,083
有形固定資産	7,653,880,739	7,683,402,412	▲29,521,673
土地	3,161,760,184	3,161,760,184	0
建物	3,604,163,169	3,723,358,854	▲119,195,685
構築物	230,634,064	207,448,428	23,185,636
教育研究用機器備品	321,853,672	289,403,639	32,450,033
管理用機器備品	27,562,700	25,660,029	1,902,671
図書	245,352,159	240,867,789	4,484,370
車輛	38,554,791	34,903,489	3,651,302
建設仮勘定	24,000,000	0	24,000,000
特定資産	736,020	24,362,050	▲23,626,030
退職給与引当特定預金	736,020	24,362,050	▲23,626,030
その他の固定資産	36,912,160	33,086,540	3,825,620
電話加入権	1,963,507	1,963,507	0
保険積立金	12,271,343	8,681,543	3,589,800
敷金	1,249,000	1,054,000	195,000
貸付金	21,269,000	21,269,000	0
その他預託金	159,310	118,490	40,820
流動資産	1,226,451,436	1,245,387,701	▲18,936,265
現金預金	1,201,184,724	1,198,066,986	3,117,738
未収入金	12,327,216	32,605,381	▲20,278,165
有価証券	724,039	723,839	200
前払金	9,748,060	8,570,501	1,177,559
仮払金	2,467,397	5,420,994	▲2,953,597
資産の部合計	8,917,980,355	8,986,238,703	▲68,258,348

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定負債	207,209,424	246,826,746	▲39,617,322
長期借入金	96,432,000	88,415,000	8,017,000
退職給与引当金	736,020	24,362,050	▲23,626,030
長期未払金	110,041,404	134,049,696	▲24,008,292
流動負債	515,038,267	451,912,255	63,126,012
短期借入金	44,983,000	32,292,000	12,691,000
未払金	33,493,678	36,381,982	▲2,888,304
前受金	163,889,500	161,447,500	2,442,000
預り金	272,672,089	221,790,773	50,881,316
負債の部合計	722,247,691	698,739,001	23,508,690
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
基本金	12,291,822,803	12,118,871,388	172,951,415
第1号基本金	12,146,822,803	11,973,871,388	172,951,415
第4号基本金	145,000,000	145,000,000	0
繰越収支差額	▲4,096,090,139	▲3,831,371,686	▲264,718,453
翌年度繰越収支差額	▲4,096,090,139	▲3,831,371,686	▲264,718,453
純資産の部合計	8,195,732,664	8,287,499,702	▲91,767,038
負債及び純資産の部合計	8,917,980,355	8,986,238,703	▲68,258,348



学園協力会・役員会・忘年会

令和元年12月2日(月)、群馬育英学園協力会役員会が法人本部会議室で開催されました。主な議案として、男子サッカー部の全国高校サッカー選手権大会出場、女子サッカー部の選手権大会出場、男子バスケットボール部全国大会出場の応援協力について審議され、協力会分目標額を5,200千円とすることが承認されました。

その後、12月5日(木)午後6時より、群馬ロイヤルホテルにて、協力会忘年会が開催され、学園関係者を含めて71名が参加しました。最初に小島秀憲会

長より挨拶があり、続いて中村有三学園長、中村義寛理事長よりご挨拶を頂きました。高校サッカー部男子監督の山田耕介校長より全国大会へ出場する男子サッカー部、女子サッカー部の募金について協力要請がありました。また、高校硬式野球部荒井監督より夏の甲子園出場の際にかかる多大なるご支援の御礼の挨拶を頂きました。

会員相互の親睦を深めるとともに、学園の教育諸活動に対する理解と協力を要請しつつ午後8時過ぎに散会となりました。



高等教育の修学支援新制度

文部科学省では、しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況が一定金額以下の場合、大学・短期大学・高等専門学校、専門学校に進学できるチャンスを確認できるよう、令和2年4月から高等教育の修学支援新制度を実施します。平成29年12月の「新しい経済政策パッケージ」、平成30年6月の「経済財政運営と改革の基本方針2018(いわゆる骨太の方針)」に

において、意欲ある子供たちの進学を支援するため、授業料・入学金の免除または減額と、返還を要しない給付型奨学金の大幅拡充により、大学、短期大学等の学納金を無償化する方針を決定しました。

本学園では育英大学、育英短期大学双方で高等教育の修学支援新制度の対象機関になるべく、関係部署より申請を行い昨年9月に一定の要件を満たすことの確認を受けて対象機関となりましたことをご報告致します。

群馬育英学園協力会会員名

(令和2年1月1日現在)

- | | | | |
|--------------|----------------|----------------|----------------|
| ● 池下工業(株) | ● (株)足利銀行前橋支店 | ● (株)シンドウ | ● 熊井戸工業(株) |
| ● (株)小林タイル | ● ケービックス(株) | ● (株)スズン前橋店 | ● 大塚製菓(株) |
| ● 上毛資源(株) | ● (株)飯野 | ● (有)瀧村造園 | ● (有)松田製パン所 |
| ● パナソニック | ● 井上ビニール(株) | ● (株)東和銀行 | ● システムアルファ(株) |
| ● (株)勝山工務所 | ● (株)イソベスポーツ | ● 本店営業部 | ● ショップ |
| ● (株)エタスタシオ | ● (株)煥平堂 | ● (株)登利平 | ● 日本中央交通(株) |
| ● 小林工業(株) | ● 関東ホーチキ(株) | ● (株)中島プリント商会 | ● (有)群馬プロゴルフ |
| ● (有)イワモト | ● コスモ石油販売(株)環境 | ● (株)JTB関東 | ● 城田興業(株) |
| ● 鹿島建設(株) | ● エネルギーカンパニー | ● 法人営業群馬支店 | ● まこちゃん弁当 |
| ● 群馬営業所 | ● 関東支社高崎支店 | ● 日本包装システム(株) | ● (有)大寛建設 |
| ● 上毎印刷工業(株) | ● (株)紀伊國屋書店 | ● (株)日本旅行 高崎支店 | ● (株)ヤマニ熱工業 |
| ● (株)前橋大気堂 | ● さいたま営業所 | ● 教育センター | ● 東武トップツアーズ(株) |
| ● (株)関電工群馬支店 | ● 群馬振興(株) | ● 前橋事務器(株) | ● 旭鉄工(株) |
| ● ALSOK群馬(株) | ● (有)群馬通信機サービス | ● (株)丸一ちきりや | ● 芝入印刷(株) |
| ● (株)山田冷凍 | ● (株)群馬ロイヤルホテル | ● FVジャパン(株) | ● タチバナ自動車工業(株) |
| ● 中央群馬工業(株) | ● (株)詩季画材 | ● 群馬支店 | ● (株)Eコネク |
| ● (株)一ツコー | ● (株)上信観光バス | ● (株)水本園 | |
| ● (株)ヤマト | ● (株)上毛新聞社 | ● (株)メモリード | |

学生のみなさんへ

新しい「給付型奨学金」が 2020年4月スタート!

学びたい気持ちを応援します



育英大学 育英短期大学 だより

学生数

大学教育学部	152人
短期大学	
保育学科	455人
現代コミュニケーション学科	179人

地域が求める人材の 育成をめざして



育英大学・育英短期大学

学長 石井 學

育英大学は開設初年度広報活動等の時間がなく、学生募集に苦戦しましたが、今年度は入学定員をほぼ確保し、来年度は十分に期待に込めることが出来ると思います。これも教職員を始め多くの方々のご支援の賜と深く感謝する次第です。

さて、私立大学の存在理由は「建学の精神」にあることは、今さら申し上げることもないことです。が、最近やや希薄化が感じられます。しかし、今日では想像を絶するような困難な時代にあつて、学校の設立という偉業をなし遂げた開設者に今一度想いを馳せたいと思います。このことは中教審のグランドデザインでも、私立大学は「建学の精神」に基づき、多様性に富み独創的な教育研究を担っていると指摘しています。本学の「建

学の精神」は公正、純真、奉仕、友愛で、道徳心を持つ人材の育成の教育を目的としています。

今後、本学は「建学の精神」をふまえながら、授業にアクティブラーニングを積極的に取り入れ、主体的な学びを進めます。アクティブラーニングは、学生が能動的に学び、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用能力を図ることを目的としています。教員による一方的な指導ではなく、体験学習やグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーキングなどを通して主体性を涵養し、変化する社会に柔軟に対応できる人材の養成に努めます。

育英大学教育学部においては、教育でもAIの導入が言われている中にある教育現場の抱えているいじめや、不登校等さまざまな

問題に真正面から向き合える人材を育てます。専攻の児童、保育、スポーツの分野は、ロボットが教えることはできません。それぞれの分野における専門性を高め、あわせて「建学の精神」である道徳心を持った教育指導者の養成に努めます。

育英短期大学に関しては、構造的に厳しい時代を迎えていますが、県内においては育短として知名度と伝統があり、今後も全学一体となって、常に時代に即応した改革を続けます。

保育学科については未来の幼児教育を担う深い専門性と確かな実践力を持った保育者を養成します。さらにプラスアルファの力という分野を持つことにより、強みを持った保育者を目指します。そのため現在の4系統をさらに細分化することを検討中です。また幼小接続に向けての対応も考えています。

現代コミュニケーション学科は現在6コース制で各専門分野を学ぶとともに、進路希望に応じ、他のコースの科目も受講できる幅広い知識と資格を取得できます。更に新たにeスポーツを取り入れた講座の開設も予定しています。ゲームを通してプログラミングの基礎的なアルゴリズムや、プログラミング技法の習得を考えています。

今後一層地域で学び地域に帰るといふ地域に寄り添う大学として専門性を持つ人材の育成に努めます。ご支援下さい。

短期大学学科だより



保育学科長
松本 尚

新年あけましておめでとうございます。保育学科2年生においては実習・就職内定と順調に進み、残りは卒業までの単位取得が無事終了することとで幼稚教諭免許と保育士資格が取得されます。そして、その国家資格を使用して90%以上の学生が認定こども園・保育所・幼稚園などに就職す



現代コミュニケーション学科長
泉水 清志

新年あけましておめでとうございます。今年度は89名の新入生が入学し、有意義な短大生活を過ごしております。また、2年生の進路決定は順調で、次年度の学生募集も昨年度とほぼ同様に推移しており、社会での高い評価を喜び、皆様方のご支援に感謝しております。

現代社会は急激に変化し続けており、短期大学はそれに合わせた教育を

ることとなるわけです。1年生においては昨年の11月に初めての観察実習が終了し、2年次より専門的な保育内容の学習が始まります。本学はこれまで数多くの保育者を養成し、毎年のように240名近くの保育者を社会に送り出してきました。近年では保育者不足が叫ばれるなかで就職状況は引く手数多であります。しかし、実態としては離職率の高さや過酷な勤務実態などが報道されることなどで入学希望者が減少しているのが実情です。これからの日本を背負っていく子どもたちの将来を見据え、保育者養成は大変重要なことだと考えています。今後も教職員一同、夢を育てられる先生の育成に努力して参りたいと思いますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

することが必要です。近年、大学は学内外に学修成果を可視化することが求められ、その達成度によって評価されるようになっていきます。現代コミュニケーション学科は、6つのコースの専門的知識や観点から多角的にコミュニケーション能力を修得し、その知識や能力を通して地域社会に貢献する実践的な人材を養成することを目的としており、その達成度が重要であると考えます。前橋育英高校との定期的な協議によつて実施している各種の連携・接続をさらに進めるとともに、育英大学とも協力しながら、群馬育英学園の発展のために学科教員一同努力していきたいと思ひます。今後とも変わらぬ皆様方のご支援・ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

大学専攻だより



教育学部長
児童教育専攻長
新井保幸

新年おめでとうございます。教育学部は開設二年目を迎え、予定していた専任教員が全員揃いました。教員一人当たりの学生数が少なく、恵まれた学習環境です。入学定員の充足は一期生が六割、二期生もあと一歩でしたが、今春入学予定の三期生は定員を大幅に上回り、児童教育専攻も初めて定員を充足できる見込みです。本学部は広い意味での教育関係者や公務員の養成に力を入



スポーツ
教育専攻長
朝岡正雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様の温かいご支援を賜り、育英大学教育学部スポーツ教育専攻は、平成三十一年四月に、入学定員を超える五十三名の二期生を迎え、無事二年目をスタートすることができました。本年度は、一年生は、昨年度と同様に、教職体験実習を行い、二

ています。学生の出身地は県内が七割で、県内での就職を希望する学生が多いと思われま

近年は学生が学校現場に出向いて体験的に学ぶことが奨励されており、本学部でも「くつき実習」と呼んで実施しています。近隣の小学校での放課後学習支援、大根育英幼稚園での行事の手伝い、中学校での部活動支援などが主な内容ですが、本学による地域貢献として定着しつつあります。高崎市教育委員会と教育連携に関する「覚書」も取り交わしました。今年度初めて、育英短期大

年生は新たに、教員免許取得に義務づけられている、特別支援学校(二日間)と社会福祉施設(五日間)における介護等体験実習を行い、実社会における貴重な経験を糧に一步大人に近づいて大学に帰ってきたような感じがしています。

また、二年生は、十二月に行われる「就活スタートガイダンス」を皮切りに、いよいよ就活への準備が始まり、入生最大の選択に向かって自分で道を切り開いて行くこととなります。さらに、この春休みに開かれる教員・公務

学の卒業生二名を、本学部に編入学生として迎え入れることができました。前橋育英高校の卒業生は、これまでスポーツ教育専攻を志望する者が多かったのですが、児童教育専攻を志望する者も増えつつあります。強化育成クラブも、男子レスリング部の東日本リーグ戦初出場初優勝と一部リーグ昇格、箱根駅伝予選会への出場等、活動の成果が実を結び始めています。就活支援事業として、三月には二年生対象の「教員・公務員採用試験対策講座」も始めます。今後とも御支援のほどよろしくお願い致します。

員試験対策講座は一般教養の内容が主となりますので、一般企業への就職を希望する学生たちにも強く受講を勧めています。ご父兄の皆様には、学生たちが自分の歩む道を自ら選択し、それに向かって努力するのを温かく応援して頂きますようお願いいたします。

令和二年度入試も順調に推移し、この四月には、入学定員を上回る数の三期生が入学してくる予定ですので、引き続き皆様方のご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

第30回群馬県私立大学スポーツ大会に参加

他大学の参加学生との交流

第30回群馬県私立大学スポーツ大会が、10月5日(土)・6日(日)にALSOCKぐんま総合スポーツセンターをメイン会場として、高崎市流通センター運動広場、キックス高崎の各会場で開催された。

本学からは、大学生・短大生合同でバレーボール女子、バスケットボール男子、バスケットボール女子、バドミントン男子、バドミントン女子、硬式テニス女子、ソフトボール女子、フットサル男子、フットサル女子の9クラブが参加しま

した。両日、秋晴れにも恵まれ、参加学生達は気持ちの良い汗を流して頑張ってくれました。

主な結果としては、バレーボール女子優勝(5連覇)、フットサル女子優勝、硬式テニス女子初優勝、ソフトボール女子準優勝など参加チームそれぞれが大健闘してくれました。

学内とはまた違った緊張感や楽しさの中、スポーツを通して他大学の参加学生との交流の良い機会になったと思います。



クラブ活動の主な成績

本学の学生が本年度に活躍した主な成績は次のとおりです。

①陸上競技部

○外山 結(大学・スポーツ教育:2年)

第96回箱根駅伝競走(1/2)

関東学生連合チームで出場:5区(20.8km)タイム1時間14分19秒

○赤坂 雄斗(大学・児童教育:1年)

第30回関東学生新人陸上選手権大会(9/20)

男子10000m競歩:6位

○高橋 奎太(大学・スポーツ教育:2年)

第98回関東学生陸上競技選手権大会(5/26)

男子2部棒高跳:7位

②レスリング部

東日本学生リーグ戦(5/13~15) 二部リーグ優勝(一部リーグ昇格)

○富塚 拓也(大学・スポーツ教育:2年)

明治杯全日本選抜選手権(6/13~16) 男子グレコローマンスタイル72kg級:3位

いきいき茨城ゆめ国体(9/28~10/1) 成年男子グレコローマンスタイル72kg級:3位

全日本選手権(12/19~20) 男子グレコローマンスタイル72kg級:準優勝

○下野 佑実(大学・スポーツ教育:1年)

全日本オープン選手権(10/19~20) 女子シニアの部53kg級:準優勝

全日本選手権(12/20~21) 女子フリースタイル53kg級:3位

○伏部内 まこ(大学・児童教育:1年)

全日本オープン選手権(10/19~20) 女子シニアの部62kg級:3位

③女子バレーボール部(大学・短大)

第30回群馬県私立大学スポーツ大会(10/5~6) 優勝(5連覇)

④アスリート部

○細谷 明日香(大学・児童教育:2年)

第52回東日本学生トランポリン競技選手権大会(5/26)

女子個人Bクラス:優勝

第43回東日本トランポリン選手権大会(9/15)

女子個人Bクラス:優勝

⑤吹奏楽部

○阿部 和輝(大学・児童教育:2年)

第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会(12/4)

ファゴット部門大学の部:4位

平成30年度後期・令和元年度前期の成績優秀者奨学金授与式

平成30年度後期の成績優秀者及び令和元年度前期の成績優秀者に奨学金授与式が5月23日(木)と11月28日(木)に執り行われました。奨学金は半期授業料の半額相当です。成績優秀奨学生は、以下のとおりです。

■平成30年度 後期
成績優秀奨学生

教育学部教育学科

児童教育専攻

1年

泉 はるか

スポーツ教育専攻

1年

須藤 千聖

短期大学

保育学科

1年

小島 結衣・河合杏咲美

町田明日香・塩野 綾花

北村 春那

現代コミュニケーション学科

1年

木崎 楓子・宮下 彩花

■令和元年度 前期
成績優秀奨学生

教育学部教育学科

児童教育専攻

1年

小林 眞子



平成30年度 後期 奨学金授与式(令和元年5月23日)

2年 阿部 幸音
スポーツ教育専攻
1年 池田 春輝
2年 須藤 千聖
短期大学
保育学科
1年 小暮 七海・稲垣 綾乃
須藤 七海・浦田 雅
横山明日香



令和元年度 前期 奨学金授与式(令和元年11月28日)

2年 河合杏咲美・中村 朱里
平根 萌夏・小島 結衣
井出 麻裕
現代コミュニケーション学科
1年 鍋木 菜々・石田 優香
2年 宮下 彩花・廣井 梨花

桔梗祭2019

桔梗祭実行委員長

町田 光
江嶋 未郁

今年のテーマは「新時代を切り開け〜Beautiful Harmony〜」でした。育英大学と育英短期大学が一致団結し、新たな令和の時代にふさわしいような新しい桔梗祭になるように願いを込めてこのテーマにしました。



桔梗祭1日目は、オープニングでの幹部から皆さんへのサプライズとして、フラッシュモブを披露し、桔梗祭が始まりました。ステージでは学生の発表やメイン企画のイントロクイズやシルエットクイズが行われました。また、今回の目玉となったお笑いライブが行われ、「ですよ。」さん、「和牛」さん、「ランパンプス」さんが出演し、最後のプレゼント企画では大いに盛り上げてくださいました。

2日目も、ステージでは学生を中心とした発表があり、どの団体も素晴らしい発表でした。また、学生会企画としてビンゴ大会が行われました。午後は体育館で後夜祭が開催されました。有志の団体の発表が中心となり、どの団体もこの日のために一生懸命取り組んできました。最後の幹部企画のプレゼント抽選会では、豪華なプレゼントが用意され、大いに盛り上がりました。

2日間とも大きなトラブルもなく、最後の後夜祭まで楽しい桔梗祭で終えることができました。それから、今年は皆様に楽しんでもらえるよう1日目に「クラウン」をお呼びし、とても喜んでいただきました。他にも、学生の素晴らしいパフォーマンスや模擬店、展示物



も多く、笑顔溢れる桔梗祭になったと思います。4月から桔梗祭に向けて準備を始め、今まで精一杯取り組んでまいりました。不慣れな点はありませんでしたが、たくさんの方のサポートのおかげで作ることができ、沢山相談しながら、私達のやりたかった新しい桔梗祭を作ることができました。来年は更に皆様が楽しめる桔梗祭になることをこより願っています。

桔梗祭にお越しいただいたたくさんの方の皆様、本当にありがとうございました。ごさいました。

育英短期大学幼児教育研究所 リカレント講座

本研究所では、幼児教育・保育に携わる方々を対象にした「リカレント講座」を実施しており、少しでも地域に貢献できればと考えています。

令和元年度は、次の講座を実施し、講演のほかに所員による個別相談も行いました。

■7月26日(土) 18時〜19時

演題 「園における安全教育の取り組みについて」

講師 望月文代先生(育英大学教育学部 学部児童教育専攻 講師)

■11月29日(金) 18時〜19時30分

演題 「パネルシアターで遊ぼう」

講師 椎名容子先生(パネルシアター作家・こいのぼりバンドボーカル)



令和元年度公開講座

本学では、地域連携推進事業の一環として公開講座を実施しており、地域の皆様の生涯学習の一助となれどと考えています。

令和元年度は、次の講座を実施しました。

■第1回 10月20日(日)

10時～11時30分

■演題／「糖尿病について理解を深めよう」

■講師／奈良誠人(育英大学教育学部スポーツ教育専攻教授)

■会場／育英大学教育学部スポーツ科学実験室

近年、糖尿病患者は増加傾向にあり、一般市民向けに糖尿病を理解してもらうことを目的に、糖尿病の疫学、病態、検査、治療方法(主に食事療法、運動療法)をわかりやすく解説しました。

■第2回 10月26日(土)

13時～14時30分

■演題／「写真展『等身大のアジアに生きる』-アジアをより深く楽しく理解するために」

■講師／櫻田涼子(育英短期大学現代コミュニケーション学科准教授)／三浦哲也(育英短期大学現代コミュニケーション学科准教授)／飯塚真弓(高崎経済大学・非常勤講師)／安田慎(高崎経済大学地域政策学部・准教授)

■会場／育英大学教育学部201教室

高崎経済大学の教員と育英短期大学の教員4名がそれぞれ



れのフィールド(マレーシア、インド、シリア)で撮影した写真を公開する企画「写真展『等身大のアジアに生きる』」(2019年10月26日～11月1日)の開催に合わせて実施したギャラリートークでした。

講座では、4人の講師がリレー形式で、写真の背景にあるそれぞれの社会の状況や文化などを説明しました。

■第3回 11月10日(日)

10時～11時30分

■演題／「言葉のリズムを楽しむ」

■講師／熊木眞見子(育英大学教育学部児童教育専攻教授)

■会場／育英大学・育英短期大学桔梗ホール

北原白秋や谷川俊太郎の詩をリズムにのって調子よく読み、雰囲気を出すような楽器やおもちゃの音を加えたり、全員がそろって読むだけでなく、掛け合いで読んだり言葉を重ねたりするという講座でした。

■第4回 11月23日(土)

10時～11時30分

■演題／「レクチャーコンサート『ピアノの歴史をたどって』」

■講師／林智草(育英短期大学保育学科講師)

■会場／育英大学・育英短期大学桔梗ホール

バロック、古典派、ロマン派、そして近代と、時代の異なる8人の作曲家のピアノ作品を取り上げ、演奏と共にピアノの誕生とその後の変遷についてレクチャーを行いました。



育短リレーコラム

AIとともに暮らす未来に

保育学科

教授 周東 聡子



学生たちに「席を離れるときは貴重品を持つように」と言ったところ、スマートフォンだけを持った者が何人もいた。「スマートフォンがあれば、何もいらない」という人たちがいる。確かにスマートフォンがあれば、わからないことはいつでもインターネットで調べることができる。授業で学生たちに、インターネットで検索した結果から、どのくらいWebページを確認するのかを尋ねたところ、「上から2つか、3つ」「5つぐらい」などという答えが返ってきた。検索結果の上位には広告と書いてあるものも少なくない。日々、どんな情報を得ているのか心配である。

レインボーブリッジを自動運転の車が渡り、大阪の地下鉄では改札を顔認証で通り抜ける、そんなAIの技術が社会の中にじわりじわりとその姿を見せ始めている。2040年には、今ある仕事の半分は、AIに代替されるといわれている。そんな社会で活躍できる人材となるためには、何を学べばいいのか、また、どのように学ぶのか、喫緊の課題である。

2018年の国際学習到達度調査(PISA)の結果では、日本の15歳の読解力は、前回の8位から15位と大きく順位が下がったという。これを聞いて「教科書が読めない子どもたち」という新井紀子教授(国立情報学研究所の指摘が思い浮かんだ。新井氏の講演会では、「これからの大学は、高校卒業までに教科書の文章を読んで理解できる生徒を入学させ、教育をすることが重要だ」と話されていた。意味を理解して仕事をするところこそ、AIが苦手とするところである。AIにはできない仕事を、する人材が求められている。そうした人材を育てていきたい。

会
翔
り
飛
だ
よ

令和元年度定期総会

支部会の開催

【定期総会】

令和元年度定期総会が5月18日(土)午後3時から本学の125教室で開催されました。

定期総会では、平成30年度事業報告、決算報告、会計監査報告があり了承されました。続いて、令和元年度新役員の選出がされ、新旧役員の交代が行われました。次に、令和元年度事業計画案、予算案が審議され、原案どおり承認されました。その後、総会をもって任期満了により退任される会長、各副会長(支部長)、監査計8名に学長より感謝状と記念



定期総会 議事説明

品が贈呈されました。

【支部会】

第1回支部会が、7月6日(土)に西毛・県外支部、7月13日(土)に東毛・北毛支部、7月20日(土)に中毛・大学支部が各地域で開催されました。各支部会では、定期総会報告・学事日程、クラブ活動・出前公演の状況、各学科(専攻)の取組、取得可能な免許・資格、実習や進路などについて説明が行われ、参加した保護者からは様々な質問があり、大学との意見交換が活発に行われました。第2回は合同支部会として2月8日(土)に開催を予定しています。

【桔梗祭「青空市場」】

10月26日(土)の桔梗祭1日目に、恒例となっている「青空市場」を出店しました。

「青空市場」では、新鮮野菜や果物、お菓子すくい、飲料が格安で販売され、盛況のうちに終了しました。実行委員の方々の協力により、桔梗祭を盛り上げる事ができました。また、「青空市場」の収益金96,237円は、

学生が世界や日本各地の見聞を広めることができるよう「旅行ガイドブック」を本学図書館に寄贈しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



青空市場

桔梗会だより

6月29日に開催された総会では、同窓会活動の更なる活性化に向けた協議が行われ、今年度の同窓会活動の内容が示されました。

今年度の主な事業においては、卒業生への記念品贈呈、桔梗祭カミングキャンパスデーへの特別補助、求職登録のサポート等の事業が承認され、同窓会として在校生、卒業生への支援を深めていき

後援会だより

令和元年度定期総会

令和元年度定期総会が6月22日(土)午後4時からホテルラシーネ新前橋において開催されました。

定期総会では、平成30年度事業報告、決算報告、会計監査報告があり了承されました。続いて、令和元年度新役員の改選が行われ、新たに飛翔会会長と副会長の7名が加わり、書記2

名と監査2名が選出されました。次に、令和元年度の事業計画案、予算案が審議され、承認されました。

また、事業費については、大学の指定強化クラブ(陸上部、レスリング部、バレーボール部)に対して支援を厚くすることとしました。その後、大学から卒業生の進路の状況、入学者の状況、クラブ活動の状況などについて説明があり、後援会としてできる限りの支援をしていくことが確認されました。

ム作成などを通して賑やかに交流することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

桔梗会として育英大学・育英短期大学発展のため尽力していきたいと思ひます。今後とも皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



たいと思ひます。

10月26日(土)・27日(日)に開催された桔梗祭において、会員の方々の協力を得、今年も同窓会ブースにて模擬店出店を行いました。好天に恵まれ、同窓生並びに多くのお客様に訪れていただき、アクセサリー、フォトフレ



育英高校だより

生徒数

普通科	1,451人
保育科	257人

年頭のあいさつ



前橋育英高等学校

校長 山田 耕介

新春のお祝いを申し上げます。

「少年よ、大志を抱け」皆さんは、この言葉を聞いたことがあると思います。明治の初めに、札幌農学校に赴任したウィリアム・スミス・クラークが、学校を去る時に学生たちに残した言葉です。江戸時代が終わって、一気に西洋の文明が入り、日本はこれからどうなるのか混沌とした時代に、新しい日本をつくったのは高い志を抱いた若者たちです。変化が激しく世界と渡り合うという点では、現在もむずかしい時代です。近い将来、現在の仕事のうち約半分がAIにとつかわると言われています。

こうした時代を生きていく皆さんに必要なことは、何でしょう。例えば、英語を日本語に翻訳するだけならAIがやってくれます。けれど、経済の分野に詳しい翻訳者であったり、スポーツに詳しい翻訳者

であったりすれば大変重宝されます。つまり、英語を使つてどんな仕事をしたいのですかということです。ラーメン店では、工夫に工夫を重ねてその店でしか食べられない味になつていくと、それがインターネットで評判にある、お客さんが集まる。今はそういう時代です。

知識を得るだけでなく、知識をどう使うか、どう工夫するのか、人間にしかできないことが求められる時代です。新年にあたって、将来自分が何をしたいのか、ぜひ「志」を立てて下さい。何ができるかではなく、何をしたいかです。そしてその「志」に向かつて、学校で学びましょう。

クラーク博士は、学校の校則について相談された時、こう答えました。「この学校に校則はいらない。『Be gentleman』の一言があれば十分である。」

2020年、前橋育英生は、ジェントルマンとレディー目指して飛躍し、一日一日を大切に学んでいきましょう。

副校長挨拶



副校長 金子 雅人

昨年は、天皇陛下の皇位継承の儀式に伴い時代は、平成から令和となりました。本校は、昭和三十八年に開校し、今年五十八年目を迎えます。私は、本校を昭和五十二年に卒業しました。在学中の本校は、ほぼ山田校長著『前育主義』に書かれていたような学校でした。

しかし、私が母校に奉職してからの三十七年間で本校は、大きく変わりました。スポーツ強豪校として、サッカー部・野球部を始め他の運動部においても全国制覇を達成出来る高校となりました。そして、卒業後の進路においては、難関国公立大への進学実績と育英短大進学による幼児教育者の育成と本校の特色を明確に確立することが出来たと思います。

令和二年という新しい年を迎えて、本校もさらなる発展に向けてスタートしなければならぬと思います。そのための新たな目標を設定し、生徒教職員とともに今年もより良い年となるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

教頭挨拶



教頭 神山 義幸

明けましておめでとうございませう。おかげさまで昨年も学校では多くの生徒が毎日、活気のある充実した学校生活を送れました。これも教職員並びに学園関係者の皆様のご尽力、ご協力のおかげであると大変感謝しております。

さて、昨年は新しい「令和」の時代を迎え、日本中が祝賀ムードに包まれました。私自身も昭和の代から本校に奉職させて頂いており、感慨深いものがあります。

しかし時代が変わっても相変わらず私学を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、今後も変わることはなさそうです。そういった中、幸い本校はここ数年定員を上回る生徒が入学しております。もちろん長期的に見れば入学者の減少は避けられませんが、より魅力的な教育内容を提供し、中学生やその保護者から選んでもらえる私学であり続けたいと思っております。そのために教頭として自分自身何が出来るのか。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、微力ではありますが、尽力していく所存でおりますので今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務長挨拶



事務長 武田 雅彦

新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年は何と言つても東京オリンピック・パラリンピックの年。五十六年ぶりに我が国での開催です。オリンピックは来る7月24日に開幕し、前回の1.5倍以上の33競技、339種目で競われるとのことで、これまでにない盛り上がりが期待されています。

それぞれの競技には皆特徴があります。得点を競うもの、早さを競うもの、正確さを競うもの、それらを組み合わせるもの。ルールも良く考えられており、競技の多様性に感心させられます。最近ではTVゲームも「eスポーツ」と呼ばれる時代です。「マインドスポーツ」という言葉もあるそうです。

生徒の皆さんには、運動にも勉強にも一生懸命に取り組む、それぞれが自分に適した、自分が輝ける「スポーツ」を楽しんでもらいたいと思います。

第98回全国高校 サッカー選手権大会出場

男子サッカー部

監督 山田 耕介



6年連続23回目の全国高校サッカー選手権大会。今年度も日本一にチャレンジする大会でした。

1回戦鹿児島県代表、神村学園、九州を代表する強豪です。テクニク、戦術眼に優れ、附属の中学から6年間かけて指導できる環境でチームワークがよくまとまりのある本場に良いチームでした。お互い攻守において、ピンチありチャンスありで勝敗は、PK戦になり涙を吞みまし

た。選手、応援団みんなが一つになり、最後まで諦めず闘ってくれましたが、残念ながら1回戦敗退という結果になってしまいました。選手たちは、前橋育英の誇りをもって、応援してくる人たちが、支えてくれた人たち、仲間の為に感謝の気持ちを忘れずがんばりました。

今大会出場に際し皆様より心温まるご支援、心奪う大声援を賜り、心より感謝申し上げます。3年生の皆さん本場にご苦労様でした。そしてありがとうございます。これからの飛躍を期待しています。

全日本高等学校女子 サッカー選手権大会出場

女子サッカー部

監督 大手 真智子

この度、全日本高等学校女子サッカー選手権大会への沢山の応援、そして多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。

今年のチームは、インターハイ王者を倒し、関東大会優勝という輝かしい成績を残してくれました。とにかく、あらゆることを犠牲にし、すべてをかけて前橋育英高校のために全力を尽くし戦ってくれました。一回戦、関西地区代表である日ノ本学園高校と対戦し、0対1の初戦敗退。一進一退の攻防が続く中、涙を吞んだ。これほど早い敗戦に涙は止まらなかった。私の力

不足で本当に申し訳ありませんでした。

最後に保護者の皆様、神戸の地が黄色に埋め尽くされていたのには、まるでホームゲームのようでした。遠方にも関わらず、いつも応援に駆け付けてくださり本場にありがとうございます。三年生のみんな史上最高のチームを作りあげてくれてありがとうございます。これから新たなステージでの活躍を期待しています。

私達が神戸の地で大好きなサッカーできたのは、いつも温かく見守ってくださったすべての皆様方のおかげです。本当にありがとうございます。これからも女子サッカー部は、新しい歴史を刻めるよう精進してまいりますので変わらぬ応援を宜しくお願い致します。



ウィンターカップ

2019出場

男子バスケットボール部

監督 加賀谷 寿

5年連続でのウィンターカップ出場、昨年以上の結果を目指そうとチーム一丸で大会に臨みました。一回戦は大分代表の別府溝部高校で下馬評では対戦相手が有利とされてましたが、結果的には圧勝での勝利でした。二回戦は報徳学園高校との対戦でした。能力の高い留学生がおり、そこをいかに抑えるかがポイントになる試合でした前半は選手が協力しながらディフェンスをしましたが高さの部分でやられてしまいました。後半は三年生を中心にディフェンスからの速攻で得点を重ねましたが、前半の失点が多く敗戦となりました。高校バスケット界において留学生チームと対戦するのは避けて通れないことですが、勝利するために頑張りたいと思います。

今年是非常にまとまりのあるチームであり、三年生が率先してチームの仕事をしてくれたことに感謝します。一つでも多く、長く試合をやらせてあげたかったです。チームの為に本場にありがとうございます。

今回のウィンターカップで会場に応援に来て下さった学校関係者や保護者には感謝しております。

ます。本当にありがとうございます。これからも男子バスケットボール部への応援を宜しくお願いします。



101回目の夏

硬式野球部

部長 中沢 洋一

四年連続5回目の夏の甲子園。「群馬大会で夏の4連覇は史上初」各方面から聞こえたフレーズ、日を追うごとに音量が上がる。このプレッシャーを見事撥ねのけ、決勝では盤石の試合展開で勝ちきった。群馬大会史上

初の4連覇達成である。

今チームは昨秋、今春の県大会で優勝し、関東大会に出場した。しかし、いずれの大会も自分たちの野球ができず、悔しい敗戦を経験していた。そして、結束をスローガンに臨んだ夏の群馬大会。大会序盤で感じた噛み合わせの違和感も、試合を重ねるごとに修正され、決勝の前橋商業戦は完勝であった。夏決勝の前橋対決は九年ぶり。球場には今大会最多の約一万人が詰めかけた。先制、中押し、ダメ押しで得点、守っては相手打線を3安打に抑え完封。まさに、自分たちの野球で勝利、甲子園出場を勝ち取った。

全国高校野球選手権大会第3日、一回戦、國學院久我山(西東京)と対戦した。序盤、攻撃で主導権を握った。一回に1点を加えた。三回に同点とされたものの、五回に3連続適時打で2点、六回は長打で1点を追加、再び優位に立った。だが、終盤に守備の乱れもあって相手の攻撃を抑えきれず、七回に二死走者なしから5連打を浴び、3点を奪われ逆転を許してしまった。守りを重視しているチーム、そこを徹底できず、あと一步、押し切れなかった。得点しても追いつかれ、とどめの一本が出ない。初勝利をつかもうと粘る相手の気迫に根負けした結果となった。甲子園で勝って校歌を歌うことはできなかったが、この大舞



台で得たものは大きいはずである。一球ごとの大歓声や強豪と戦った経験。蓄積として80人のチーム全員に残るはずである。「甲子園は簡単に勝てる場所ではない」この経験を無駄にするつもりはない。更なる前進のため、今後も真摯に取り組む所存である。

最後になりますが、今大会出場に際し、多くの皆様より心温まるご支援、心震える大声援を賜り、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

第54回

群馬県高等学校
総合体育大会

保健体育主任 原口 秀樹

主任としてまずやるべきことの一つに県総体男子総合優秀であった。四年ぶりにしてやっと手にした栄冠である。今年度も競泳からはじまり最後の陸上までさまざまなドラマがあった。各種目の優勝は競泳、バスケットボール、サッカーで、準優勝に剣道、ボクシング、陸上と続く。女子においても総合第二位で、各種目の優勝はサッカー、テニス、準優勝はソフトボール、柔道、陸上で、女子の活躍も目立つ。来年度は行進でも賞を取りに行く。



令和元年度

第26回 育英祭開催

生徒会顧問 岡田 裕樹

十月十八日(金)と十九日(土)の二日間にわたり、二年に一度の育英祭(文化祭)を開催しました。

今回のテーマは「色咲ー自分の色で咲かせようー」でした。「咲」という漢字は「笑」の古字でもあり、花が開くという意味の他に、笑うという意味も持っています。クラスや部活動の仲間、先生方や保護者の方々など多くの人たちと協力し合いながら、学校全体が一丸となつて育英祭を盛り上げていく中で、それぞれが自分らしい花を咲かせてほしい、また一人一人の力で学校中を、さらには世界中を笑顔にしてほしい、そんな願いを込めて設定しました。

クラス企画では、限られたスペースや期間の中で、クラス全員が案を出し合い協力しながら教室をコーディネートし、クイズや謎解き、迷路やゲームなど精一杯の趣向を凝らしました。部活動の企画においても、日ごろの活動の成果を教室いっぱいに展示した部や、この日のために練習を重ね、演奏や演技を披露した部がありました。和の伝統を表現



した部も、科学の最先端を追究した部もありました。屋外の模擬店にも常に行列ができていて、この二日間、学校全体に笑顔があふれていました。

隔年開催のため一・二年生は初めて、三年生は二度目の参加でしたが、さまざまな企画をとおして、それぞれが自分の花を咲かせられる場になったと思います。また生徒会企画である「育英グランプリ」では、クラスや学年の枠も超え、一つの目的に向かってみんなで協力することの大切さ、そして全員が一体となつて盛り上がることの楽しさを知ってくれたと信じています。

最後になりますが、開催にあたり模擬店や展示、バザー等に参加してくださった保護者会のみなさま、企画や運営をしてくれた新旧生徒会総務および育英祭実行委員、そしてお越しいただいた来場者のみなさま、育英祭に関わったすべての方々に感謝を申し上げます。



令和元年度 進路実績と取り組み

進路指導部主任 渡辺 貴弘

『Take Action. now』を目標に職員生徒が一丸となって、一人一人の希望進路実現に向けてこの1年を走り続けてきました。大学入試改革を来年度に控え、全国的に推薦入試受験者が増加し、入試そのものが難化している状況ですが、12月時点で多くの生徒が希望進路実現を達成することができました。国公立大学では地元の群馬大学を始めとして10名の合格者、私立大学ではMARCHを含む多数の合格者が出ました。また系列校である育英大学、育英短期大学にも多くの

合格者が出ています。

大学入試改革の2本柱として掲げられていた、「英語民間試験」「国語・数学の記述式問題」の導入延期が決定し、全国の高校現場そして現高校2年生は困惑を隠せない状態です。新入試では、報道で取り上げられているこの2つの点だけではなく、主体性等評価についても対応を迫られている状況があります。AO入試は総合型選抜へ、推薦入試は学校推薦型選抜へと名称を変え、試験内容においては学力試験を必須とするものとなっています。その形態も学科試験・小論文・口頭試問など多岐にわたっているため、十分な準備をするためには志望校決定を早める必要があります。また一般

選抜においても、主体性等評価のための「活動報告書」を出願書類の必須項目とする大学があります。大学ごとに求められる内容や形式の違う書類を準備することはこれまでの一般入試ではなかったことで、受験生にとっては大きな負担となることが予想されます。進路指導部としては最新の情報に常に気を配り、生徒一人一人の希望進路実現に向けたサポートができるよう努めていきたいと考えています。

2020年度入試もいよいよ本格化します。多くの3年生が希望進路実現に向け、最後の勝負に挑んでいます。未来を切り開くために頑張っている生徒への応援をよろしく願います。



令和元年度優秀前橋育英生 表彰式

優秀前橋育英生表彰

12月23日(月)2学期終業式の前に「優秀前橋育英生」表彰式が行われました。



(左から)羽鳥さん・大林さん・渡辺さん・古澤君

12月23日(月)

修学旅行

二年学主任 磯田 孝寿

十一月五日から三泊四日の日程で修学旅行I期が行われました。出発の五日前に首里城焼失という衝撃的なできごとがあり、一部行程変更を余儀なくされましたが、神山教頭を団長として、普通科I・II・III類・保育科の十三クラス、生徒総勢四四四名が参加しました。

この修学旅行の最大の目的は、沖縄での戦争の歴史に触れ、平和について考えることでした。初日の夕食後には吉嶺全一先生の平和講話がありました。沖縄戦を少年時代に経験した先生から、直接体

験談を聞いたことは、生徒たちにとって貴重なものとなったに違いありません。二日目はクラス別に平和祈念公園、ひめゆりの塔、入壕体験等を見学し、戦争の悲惨さや愚かさ、平和の尊さを改めて実感することができました。

後半は各クラス、沖縄の自然と文化を感じられる見学地を訪ねました。天候にも恵まれ、沖縄の風土を満喫し、ホテルで行われたエイサー鑑賞では琉球民謡・舞踊を堪能しました。また、体験学習で製作した作品は、世界に一つしかない沖縄土産になったことでしょう。

最後に、行程中体調を崩したり、大きな事故がなく全日程を無事



終えたことは何よりでした。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。そして、今回見学できなかった地が修復再建し、いつの日か生徒たちが訪れることを願っています。

今年度は以下の生徒・団体が対象となりました。

「優秀前橋育英生」は文化・スポーツ等で顕著な成績をおさめた生徒に対し後援会から送られる制度です。

陸上競技部
古澤 一生(2年)
南部九州総体2019 棒高跳 優勝
いきいき茨城ゆめ国体2019 (第74回国民体育大会)少年男子A 棒高跳 優勝

ボウリング
渡辺 莉央(3年)
第20回アジアスクール ボウリング選手権大会 優勝

送無線部
大林 菜々(3年)
2019さが総文祭 朗読部門 出場

ボランティア部
羽鳥 寧里(3年)
2019さが総文祭 活動報告やフィールドワークで出場



受賞者代表お礼の言葉
陸上競技部 古澤君

このたびはこのような素晴らしい賞を頂きありがとうございます。これからも目標に向かって諦めずに努力していきます。